



南部小だより

No.8 令和7年12月23日



※タイトルのキャラクターは、『ONE PIECE 先生応援プロジェクト』に登録し、許可を得て使用しているものです。

12月も下旬となり、今年もあと一週間余りとなりました。残暑厳しい9月から始まった2学期も、短い秋を経て、冬本番を感じさせる今日で終了です。

1年で最も期間の長い2学期、子ども達はさまざまな経験をすることができました。各学年では校外学習や外部講師を招いた特別授業を行いました。特に1年生は、幼稚園、保育園の年長児を招いて交流会を実施し、手作りの遊び道具で年長児をおもてなしできました。学校全体では児童会選挙、運動会、芸術鑑賞会等を実施しました。特に運動会では、子ども達は全力で競技に取り組み、全力で友達を応援し、全力で喜び、全力で悔しがりました。これら、2学期ならではの貴重な経験を通して、子ども達は心を大きく成長させることができたと感じています。保護者、地域の皆様には、今学期もさまざまな場面で大変お世話になり、ありがとうございました。

さて、明日からは14日間の冬休みとなります。クリスマスに大晦日、お正月。子ども達の大好きなお休みです。1月7日の始業式に元気に登校できるよう、体調に気をつけ、楽しい冬休みを過ごしてください。

(校長)

<11月22日 南部ふれあいウォーク & 南部地区合同防災訓練>

この日は、地域の絆を深める一日になりました。早朝より、南部コミュニティ推進協議会の皆様、PTAの皆様、そして地域住民の皆様や子ども達と多くの方々にお集まりいただき盛大に開催することができました。

「地域のチカラ、防災のチカラ」をテーマに行われたこの行事は、防災意識を高めるだけでなく、地域の温かさを再確認する大変貴重な一日となりました。

南部ふれあいウォークの開会式の後、参加者の皆さんは、「ふれあいウォークへ」としてのコースへ出発しました。今回のウォーキングは、ただ歩くだけではなく、南部地区にある「災害危険箇所」や「防災倉庫」「河川監視カメラ」などを巡りながら、自分たちの住むまちの安全を再確認するスタンプラリー形式で行われました。普段、何気なく通っている道も、「ここは浸水の危険がある場所だね」「ここに防災倉庫があるね」と、地図を片手に会話を弾ませながら歩く姿が印象的でした。ウォーキングの後は、小学校の運動場と体育館にて防災訓練が行われました。避難所体験、簡易トイレの設営、消防車の放水体験など、実践的なプログラムが行われました。特に、避難所体験では、パーティションや簡易ベッドなどの資機材に実際に触れることで、避難所生活のイメージをもつことができました。また、婦人会の皆様などによる炊き出しのふるまいもあり、運動場で温かい食事を囲むことで、心も体も温まるひとときとなりました。

今回の行事を通じて感じたのは、災害への備えとして最も大切なのは、設備や道具だけでなく、「顔の見える地域コミュニティ」であるということです。今回、隣近所の方と交わした挨拶や、一緒に歩いて笑い合った時間が、いざという時の大きな助け合いの力になると確信しています。

今後も、地域の学校として、安心・安全な町づくりに取り組んでいきたいと思います。



＜児童代表のあいさつ＞

1年 皆川 悠さん 「2学期にがんばったこと」

ぼくは、漢字を書くことをがんばりました。「とめ」「はね」「はらい」を正しく書くこと、いろいろなときに漢字を使うこと、書き順にも気を付けることを知りました。正しい書き順でていねいに書けると、とても嬉しいです。新しい漢字を習うのが楽しみで、3学期も漢字をがんばりたいという気持ちがあふれそうです。3学期になっても、その気持ちを忘れないようにがんばりたいです。

3年 竹内 鶩さん 「ぼくが3年生になって成長したこと」

ぼくが3年生になって成長したことは2つあります。1つ目は、朝の準備が早くなったりです。1年生のころや、2年生のころは、準備が遅くて、連絡帳が書けなくて困ったときもありました。でも、「このまま時間が守れない人になるのはいやだ。」と思い、がんばりました。3年生の2学期になって、時間通りにできるようになって、うれしかったです。

2つ目は、泣かなくなったりです。幼稚園のころや、1・2年生のころは、よく泣いていて、迷惑をかけたり、幼稚園のころはよく人に「泣き虫」と言われたりして、とても嫌な気持ちでした。でも、3年生になってから、泣いていてもかい決しないことや、自分の思いを言葉で伝えることの大切さに気付きました。そうすると、泣くことが少なくなって、「泣き虫」とも言われなくなって、すごくうれしかったです。

これからも、いろいろなことを考えて行動し、一つずつ成長していきたいです。

5年 深川 恵音さん 「5年生で成長したこと」

5年生で成長したことは2つあります。

1つ目は、人との上手な接し方です。人との上手な接し方をするためにがんばったことは、相手がどう考えるか予測し、悪い方向に行かないようにすることです。

僕は、それを心がけてきました。しかし、人はそう簡単には変わらず、僕は、ときどき暴言を吐いたり、予測できずに友達を傷つけてしまったりすることがあります。たくさん喧嘩をした友達とは、だんだん喧嘩をしなくなりました。それは、「その人とは、喧嘩をしちゃダメだ。」ということを体が覚えたからだと思います。

しかし、それでは、だれかを傷つけた後なので、この方法はダメです。喧嘩をしないで、成長するためには、怒りの気持ちに任せらず、6秒間我慢することだそうです。実際に、やってみると本当に怒りがおさまりました。

これから的人生では、これを生かし、あまり怒らない心の広い人になりたいです。

2つ目は、緊張していても、大きい声で喋ることです。

僕は、学級委員を決めるときに、トップバッターで発表することになりました。とても、緊張しました。でも、緊張しているときは、「自分の限界を超えるチャンス」だと思い、がんばりました。

緊張しているときに、がんばると、達成感があります。発表した後に、「がんばったね」と言われて嬉しかったし、がんばってよかったと思いました。

日々の中で、いろいろなことが起きます。いいことも、悪いことも。どんなときでも、自分と人の気持ちを考えて、成長できるようにがんばりたいと思います。

南部小学校 学校日記 <https://agui.schoolweb.ne.jp/2310259/weblog>

南部小学校「学校日記」

日々の学校の様子をブログで紹介しています。授業や行事をがんばる子ども達の様子をご覧ください。

